

実務経歴書

私は、^{二級}木造 建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。

私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

〇〇 ×年 ×月 ××日

氏名 群馬 太郎 印

群馬県指定登録機関
一般社団法人群馬建築士会会長 あて

勤務先等

勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計	
		年月～年月	年月数
株式会社 〇〇建築設計事務所 〇部	〒371-0846 前橋市元総社町2-5-3	H25年 4月 ～ R 2年11月	7年8月
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第1条の2)
年月～年月	年月数		
H25年4月～R2年11月	7年 8月	課員	建築物の設計に関する実務
年 月～ 年 月	年 月		
年 月～ 年 月	年 月		

建築実務の詳細

建築実務経験期間の合計

年 月

(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	〇 邸	〇〇県〇〇市〇〇区〇丁目〇〇番地	H25年9月～H26年12月	50%	0年 8月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
専用住宅(木造 2階建て、延べ面積 200 m ²)の設計業務のうち、基本設計補助(平面、立面、断面計画等)等を担当した。					
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	〇 邸	〇〇県〇〇市〇〇区〇丁目〇〇番地	H27年1月～H28年2月	80%	0年11月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
専用住宅(木造平屋建て、延べ面積 140 m ²)の設計業務のうち、基本設計補助(平面、立面、断面計画等)等を担当した。					

(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	○ビル	〇〇県〇〇市〇〇区〇丁目〇〇番地	H28年3月～H29年12月	100%	1年10月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
共同住宅(鉄筋コンクリート造 3階建て、延べ面積150㎡)の設計業務のうち、基本設計補助(平面、立面、断面計画等)等を担当した。					
(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	○邸	〇〇県〇〇市〇〇区〇丁目〇〇番地	H30年1月～R1年5月	100%	1年 5月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
専用住宅(木造平屋建て、延べ面積 100 ㎡)の設計業務のうち、基本設計補助(平面、立面、断面計画等)等を担当した。					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	○邸	〇〇県〇〇市〇〇区〇丁目〇〇番地	R 1年6月～R2年11月	100%	1年 6月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
※登録機関記載欄					

- 注意事項 1 数字は、算用数字を用い、^{二級}木造 欄は該当する方を○で囲んでください。
- 2 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- 3 この実務経歴書は、勤務先(自営業を含む。)ごとに作成し、今までの建築に関する実務の経歴について受験又は登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。
- 4 記載内容に不備があった場合又は疑義が生じた場合には、再提出や追加書類の提出を求められることになり、登録が遅れる場合があります。
- 5 虚偽の実務経歴を記載した場合には、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。
- 6 ※の欄は記入しないでください。